



| 応募のきっかけは?

大阪での仕事が一段落し、実家(広島)に近いところで仕事をしようと思っていた。以前見たドラマ「遅咲きのヒマワリ」を思い出し、JOINのサイトで中国地方の瀬戸内側に絞り、協力隊募集を探しました。

| 和木町を選んだ理由は?

デザインのスキルが活かせること、実家に近い田舎過ぎないところ、というのが外せないポイントでした。和木駅へ降り立った瞬間「きれいな整った町!」という印象。和木町は子育て支援をはじめ、住民への支援が手厚いことは知っていました。面接



開発商品「どらじや郎」



時、米本町長さんから「まちの魅力の発信に力を貸してください!」と言われ、私にここに住んでほしいのだ、という強い気持ちが感じられました。その日のうちに採用が決まったんですよ。

| 移住して驚いたことは?

ごみを捨てるとき、大阪ではゆるい分別でしたが、こちらではごみ袋に名前を書くんですよ。また、職場やご近所さんからおかげを分けていただきました。これも初めての経験でした。

| 大変だったことは?

和木町初の協力隊だったこともあり、最初から自分で考えて仕事を作っていかなくてはなりませんでした。身近に同じ立場の人がいなくて、自分の立ち位置や何かをするにしてもどこまで周りを巻き込んでいいのか、どこまで頼っていいのか、分からずじまいでした。県東部の近隣の自治体の隊

員仲間と交流できたのが心の支えとなりました。

| 成長したな、と思えることは?

元々、言葉に出したり自分から発信したりすることが苦手でしたが、協力隊のミッションのひとつに「情報発信」があり、もう「慣れ」なのかな、発信する際には、事前に調べたり話を聞きに行ったりするので、責任をもって発信できるようになりました。このことは現在の仕事の一つ、ケーブルテレビ番組「和木ちゃんねる」の取材業務に役立っています。

| 印象に残っていることは?

野球風の和木町のユニフォームを作ったこと。一人だったのでその点はやりやすかったです。和木町のイメージ(やまもも、バラ)と私の好きな色であるピンクで仕上げました。ユニフォームや幟など町をPRするものを一から作らせてもらったことにやりがいを感じました。



| 現在、そしてこれからについて

協力隊卒業後は「ミウクリエイト」を立ち上げ、映像(撮影～編集)やチラシなどの制作、ホームページ作成などを行っています。任期中も今の仕事もすべて「和木町」への「地域愛」でやっていて、私の感じる「地域愛」を周囲に広げて行けたら、と考えています。協力隊を希望する人は、ぜひ地域を好きになって。

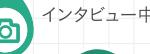
やす い え み
安井 絵美さん

| 協力隊として

| 着任地 | 和木町
| 活動期間 | 2016年7月～2019年3月
| 活動内容 | 和木町のPRや特産品開発

| 現在の仕事 ミウクリエイト 代表

| ホームページ |
<https://www.miwcreate.com/>



安井さんのあゆみ

2016.3 大阪での仕事が一段落。中国地方で仕事を探そう!

2016.7 協力隊着任

2017.4 「和木ちゃんねる」の料理番組でアシスタントとして出演

2017.夏 「どらじや郎」の開発スタート

2018.3 「どらじや郎」発売開始

2018.7 卒業後の仕事の参考として、岩国市のケーブルテレビ局を紹介される
→副業として仕事を受ける

2018.12 起業しよう!

2019.3 協力隊卒業

2019.4 「ミウクリエイト」開業